

2023 年度 行動文化論ゼミ合宿報告

人間文化学科心理・人間科学メジャーの行動文化論ゼミでは、神奈川県鎌倉市、江の島において、昔から観光資源となっている大仏や寺社仏閣と近年新たな観光資源となりつつあるアニメ等のいわゆる「聖地」を見学し、それぞれの場所や2つがまじりあっている場所の観光の形について学ぶことを目的としてゼミ合宿を実施しました。

○概要

担当教員：石井宏典（行動文化論 メジャー専門ゼミナールⅡおよびⅣ）

参加者：ゼミ生 11 人

日付：2023 年 10 月 8 日、9 日

行程：

10 月 8 日

09:00 水戸駅集合
12:14 鎌倉駅着
13:30 鶴岡八幡宮見学
15:00 宇賀福神社見学
16:00 鎌倉大仏見学
17:45 夕食（3 年生フィールド構想発表）
20:00 ホテル着

10 月 9 日

10:30 江の島駅着
班に分かれて鎌倉・江の島散策（水族館・神社班、水族館・聖地班、神社班）
15:42 鎌倉駅発
18:47 水戸駅着、解散

○学生幹事 2 人の感想

八木彩陽子

私たちは、1 日目に鎌倉周辺、2 日目に江の島を見学した。1 日目の鎌倉では、鎌倉大仏が印象に残っている。初めて見る大仏はとても美しく壮大で、約 770 年前に造られたとは思えなかったが、実際に胎内を拝観して、所々に外側からは感じられなかったつなぎ目を見つけ、実際に人の手で鑄造されたことを感じる事ができた。

また、徒歩で移動したことで、事前に石井先生に教えていただいた通り、鎌倉は住宅が多

く、その中に神社や寺社があるような地域だということを実感できた。

2日目の江の島は、神社をめぐるグループと、聖地をめぐるグループに分かれて行動した。私の所属したグループは、初めに新江ノ島水族館に行き、その後に江島神社を散策した。

私は、新江ノ島水族館に行くまで、水族館はどこに行っても同じようなものが展示されていると考えていたが、この施設は、相模湾や相模川に関する説明や模型と共に魚が展示されており、魚だけでなくその地域にも詳しくなれるような水族館だと感じられた。

その後に向かった江島神社では、エスカーという屋外に設置されたエスカレーターを使用して上に登った。これにより、体力に自信がない人でも江ノ島で神社巡りを楽しめると感じた。また、江島神社には私が今まで訪れたどの神社よりも多くの種類の御朱印が用意されていた。これによって、今回いただくことの出来なかった御朱印をもらいに、もう一度訪れたいと思わされた。以上の点から、江島神社は江ノ島という観光地に適応している神社だと感じた。



写真1 鎌倉大仏



写真2 江島神社

小谷地海生

私たちは、1日目は大仏や神社等歴史あるものが観光地となっている鎌倉の街並みを主に徒歩で散策した。3連休の中日ということもあってか、私たちと同様に歩いている観光客がとて多かった。その周辺には住宅地が広がっていた。さらに、鎌倉大仏など観光名所となっている場所の近くにはお土産屋や飲食店など多くの店が並んでいたが、その多くは店に食べるスペースを設けておらず、また歩きながら食べやすそうなものが売られていた。これは徒歩で散策する人が多いが故の工夫なのではないかと考えた。

2日目には江の島方面に行き、神社等をめぐる班とアニメ等の聖地をめぐる班とで別れて

行動した。その日は雨風が強くとっても観光しようとは思えない日であったが、それでも有名な「スラムダンク」の聖地とされる鎌倉高校前駅付近の踏切では多くの観光客がカメラをもって構えていたことが電車の中から確認できた。このような近年観光地化した場所であるが、車道にはみ出しての写真撮影、ポイ捨てなどの迷惑行為が増えているという。このようにまだ観光地としての環境が整備されていないところではこのような問題が起きてしまっている。しかし、これは鎌倉を散策したときにも似たようなことは言え、住宅地を多くの観光客が歩くとなると、騒音などいろいろな問題を抱えているのではないかと考えた。多くの人が訪れるということはそれだけ問題が発生するリスクも同時に抱えているということを感じた。

聖地巡礼という言葉が聞かれるように、アニメやドラマ、歌などで登場する場所に訪れるという行動は完全に受け入れられており、それを利用した街づくりも行われている。茨城県大洗町は「ガールズ&パンツァー」の舞台であることを前面に押し出しているが、鎌倉、江の島は決してそのようなことはないように感じた。ほかの観光資源などとの兼ね合いもあり聖地の活用の仕方にも多様な形があることを学んだ。



写真3 聖地についての看板



写真4 新江ノ島水族館内の展示